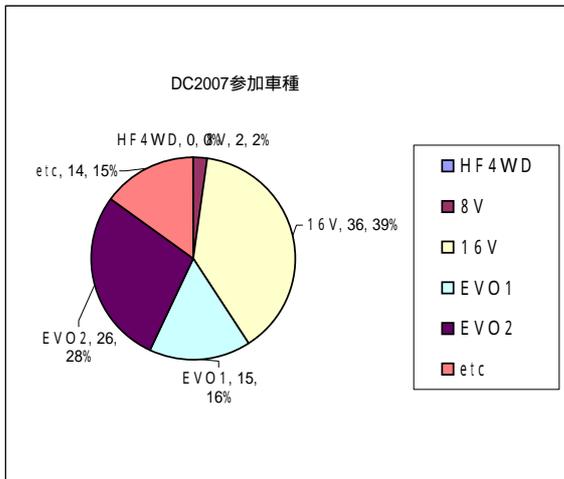


# DCS2007 DATA

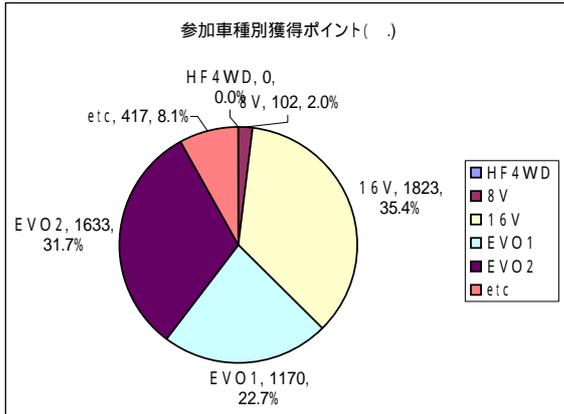
Analysis result by CMR&D

| 参加総台数 |      | 95 台    |          |
|-------|------|---------|----------|
| 参加車種  | 参加台数 | 獲得point | AvePoint |
| HF4WD | 0    | 0       | 0        |
| 8V    | 2    | 102     | 51       |
| 16V   | 36   | 1823    | 51       |
| EVO1  | 15   | 1170    | 78       |
| EVO2  | 26   | 1633    | 63       |
| etc   | 14   | 417     | 30       |



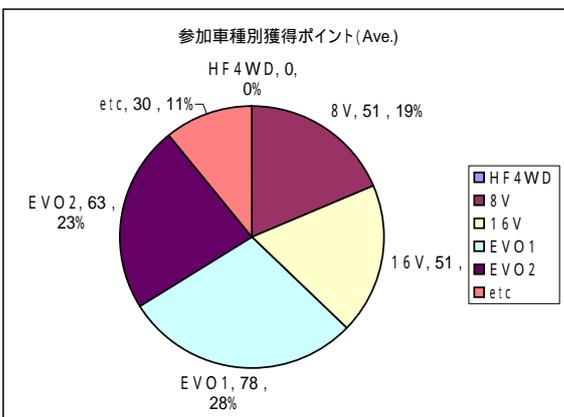
## 分析結果

参加台数が一番多いのが36台の16V。最終型であるEVO2で10年経つデルタだが、16VがEVO1の2倍のエントリー、凄い増殖ぶりだ。



## 分析結果

左の図が、車種別の獲得ポイント総計の構成比だ。参加台数が一番多い16Vが今年はTop、ほぼ台数比に依存。



## 分析結果

左の図が、車種別の獲得ポイントの一台当たりのポイント平均の構成比だ。TopはEVO1、EVO1乗りは少ないが、平均的に速い人が乗っている車種の様だ。16Vは車種別の参加数ではTop、総獲得ポイントでTopだが、平均ポイントはEVO系以下、ピギナーが多い様だ、16V乗りよ、がんばるのだ！

## DCS2007 年間ポイント

Point

200  
180  
160  
140  
120  
100  
80  
60  
40  
20  
0

1st (SMGT) 2nd (DC) 3rd (ESC) Final (DCF) 年間ポイント 戦

- ◆ 雨大好きフリップ荒井
- ◆ こたちよ
- ◆ ピラローニ
- ◆ トイヴォゲン森山
- ◆ オクムラ ヒロシ
- ◆ Count Zero
- ◆ ヴェローチェ小須田
- ◆ WRX翔悟
- ◆ 偽オスリ岩瀬
- ◆ マッシモ石塚
- ◆ カルロ・コルマルーニ池田
- ◆ 鈴木 和彦
- ◆ マサト
- ◆ マキネン山崎
- ◆ リハビリータ寺沢
- ◆ わだっち
- ◆ 仔牛
- ◆ 地味旦那
- ◆ iwa
- ◆ 師田龍一郎
- ◆ キートスSEED
- ◆ L'corsi荒尾
- ◆ あきたコレチ佐藤
- ◆ つるちゃん
- ◆ ターマックいわた
- ◆ こたけ
- ◆ イッパイイッパイ石井

### 分析結果

上の図が、上位27名のDCS2007全戦参戦Drの獲得ポイント状況だ。

【Gr - S】

今年は、2戦迄揃っていた常連組みが第3戦欠場となり、第3戦終了時は、トイヴォブルーノ選手の楽勝ムードであったが、最終戦で痛恨のスピンドルで失速。結果、常に安定した走りの雨大好きフリップ荒井選手に栄冠が与えられた。雨大好きフリップ荒井選手はサーキット名の逆で、大の雨嫌い、全戦ドライコンディションであった今年のDCSが一つの勝因だろう。

【Gr - B】

激戦のGr-B、Topのオクムラ選手が頭一リードしているものの、上位陣が均衡しており、ワンミスで誰が優勝してもおかしくない状態だった。後半戦、メキメキと速くなった、その名の通りヴェローチェ小須田選手が年間3位に滑り込む混戦だった。オクムラ選手は最終戦で3位入賞だったが、ここで、優勝すれば、Gr-Bで4戦全戦優勝という完封勝利、しかしながら、それを小須田選手が阻止、来年は、Gr-Bのグラジュエイト組みが栄光のGr-Sをどれだけ脅かす存在になるかが期待される。

【Gr - A】

総合1位はわだっち選手、4戦全戦表彰台という手堅い走りも素晴らしい。もともと、この車はAクラスの車では無いので、Gr-Bでしっかり戦ってもらいたい、もうAクラスは認めません。総合2位はO3Rの隠し玉、ハミルトンの若い頃から英才教育をされたO3Rの秘蔵子でもあるコルシカン選手。最終戦では、飛び出し、バンパー下半分もげました。年間3位には、全戦参戦ポイントなしに、イッパイイッパイ石井選手が入賞、Gr-Aは全戦参戦しなくても、年間タイトルを得られるという驚きの状態。年間出れば、かなりの確率で入賞できちゃうかもです。残念なのは、水野選手、もう一息でした。彼の様なピギナーにこそ、入賞して欲しかったです。来年は是非入賞を狙ってください。